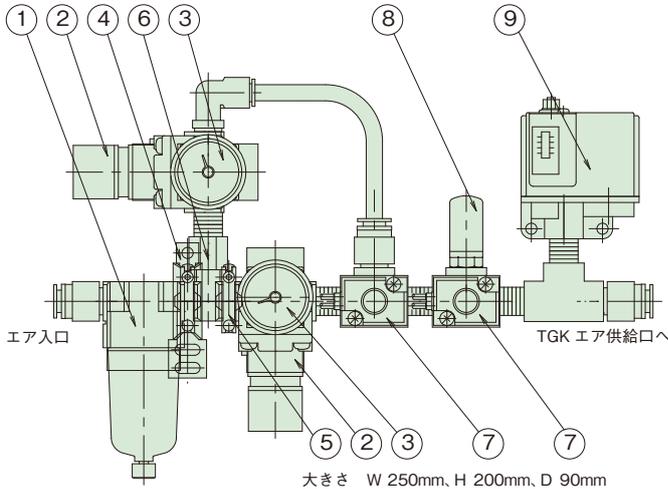


デュアルエアコントロールシステム

このシステムは、レギュレータを2個使用し、起動時には高圧設定したレギュレータからエアをTGKシリーズに送り、タイマを使って数秒後(1秒～10秒)、低圧設定したレギュレータに切換え、最適なトルク設定を行います。この様なシステムを組むことによって、機械の運転中に色々なトルク調整を自動的に行う事ができます。

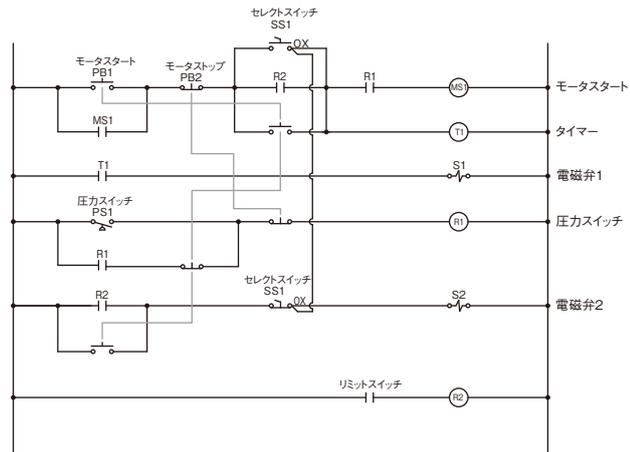
エア機器の構成



部番	機器名称	参考型番 (SMC)
1	エアフィルタ	AF20-02-A
2	レギュレータ	AR20-02-A
3	圧力計	G36-10-01
4	ブラケット付スパーサ	Y200T-A
5	スパーサ	Y200-A
6	T型スパーサ	Y210-02-A
7	3ポート電磁弁	VT307-1G1-02
8	サイレンサ	AN20-02
9	圧カスイッチ	IS3000-02

電気回路図

- PB1 モータスタートボタン
- PB2 モータストップボタン
- SS1 セレクトスイッチ
- SS2 圧カスイッチ
- S1 電磁弁1
- S2 電磁弁2



基本動作

起動時は、まずセレクトスイッチ (SS1) がエア ON 状態になっている事を確認してください。

モータスタートボタン (PB1) を押すと、モータが回り TGK シリーズがクラッチ ON 状態に復帰します。その時、リミットスイッチが ON 状態になりモータの自己保持が完了し、モータスタートボタン (PB1) を放してもモータは回転を続けます。

注) 圧カスイッチが OFF 状態の時は、モータスタートボタン (PB1) を押してもモータは回りません。

過負荷時は、発生と同時に TGK シリーズのセンサーターゲットが移動し、その移動量をリミットスイッチ等で検知します。

リミットスイッチが OFF 状態になると電磁弁 (S1) が切り換え、同時にモータの自己保持が OFF しモータの回転が停止します。クラッチ OFF 時は、セレクトスイッチ (SS1) をエア OFF に切り換える事により行えます。エア OFF 状態にすると電磁弁が切り換え、TGK シリーズへのエア供給が停止し、TGK シリーズがクラッチ OFF 状態になり、モータは回転を続けますが、動力は従動側には伝わりません。

電気回路図

